

向日市報

まちのうごき		
面積 7.67㎡		
(9月1日現在)	(8月中)	
世帯数 17,404世帯	生まれた人 50人	
人口 53,083人	亡くなった人 19人	
男 26,083人	転入した人 240人	
女 27,000人	転出した人 235人	

ふるさとづくりに 174億円 平成元年度 決算総額

くらしの向上をめざし

福祉・文化・教育を充実

平成元年度の一般会計、特別会計の決算が、九月定例市議会にて認定されました。決算総額は、一般会計、特別会計を合わせて、百七十四億九千二百六十九万九千九百九十九円と、前年度に比べ、歳入百一億三千二百九十五万一千円(前年四千万円を差し引いた実質収支比九億三千八百五十五万支)において、八千二百六十七万九千九百九十九円(前年十七万円の赤字)の増(減)となり、歳出百億三千八百九十三万七千九百九十九円(前年百九十九億四千四百七十九万九千九百九十九円)の増(減)となり、昭和六十三年年度から九・四パーセントの増(減)と、一万一千円を差し引いた単年

一般会計

平成元年度一般会計の決算額は、歳入百一億三千二百九十五万一千円(前年四千万円を差し引いた実質収支比九億三千八百五十五万支)において、八千二百六十七万九千九百九十九円(前年十七万円の赤字)の増(減)となり、歳出百億三千八百九十三万七千九百九十九円(前年百九十九億四千四百七十九万九千九百九十九円)の増(減)となり、昭和六十三年年度から九・四パーセントの増(減)と、一万一千円を差し引いた単年

平成元年度の主な事業

市民のくらしを守る
健康と福祉の向上
老人福祉 高齢者福祉推進の指針となる「高齢者福祉基本計画」を策定。福祉・保健・医療等の関係者などで構成する「高齢者福祉保健ネットワーク連絡調整会議」の設置。在宅介護サービスを充実。シルバー人材センター発足。

住みよい生活環境の整備
生活環境の整備
道路・水路 寺戸区事務所から阪急東向日駅への道路を市民に親しまれるコミュニティ道路として整備を開始。西向日噴水通り周辺で昭和62年度から3か年計画で進めてきた「桜の径保全整備事業」が完了。

教育・文化の充実
学校教育 第2向日陽小学校北校舎大規模改修。全小中学校にワープロの配置や機械整備採用。

社会教育 生涯学習モデル市町村の指定を受け、生涯学習の意向調査を行うなど生涯学習を推進。女性行動計画の策定に着手。

文化振興 文化振興計画の策定に着手。向日市美術展を開催。文化財調査事務所を建設。物集女塚古墳や物集女塚跡の整備を推進。

社会体育・スポーツ振興 第5向日陽小学校屋外運動場に夜間照明を設置。市民体育館に競技用備品を充実。市民スポーツの振興を推進。

平和・国際交流 広島平和祈念式典へ市民の代表を派遣。市民平和のつどいを開催。サラトガ市との盟約締結5周年記念事業としてサラトガ市で「向日市展」を開催し、公式親善訪問団を派遣。交換学生の派遣事業を実施。中国抗州市へ公式訪問団の友好訪問。

ふるさと創生 市民のアイデア募集による貴重な提言をもとに、星空観測所の設置に向けて整備基本計画を策定。

環境監視測定を強化。
交通安全 阪急東向日駅西側に自転車駐輪場を増設

環境監視測定を強化。
交通安全 阪急東向日駅西側に自転車駐輪場を増設

環境監視測定を強化。
交通安全 阪急東向日駅西側に自転車駐輪場を増設



市長 秋吉 民

21世紀に向けて 市民本位の市政の推進

平成元年度の市政の推進
平成元年度の市政の推進
平成元年度の市政の推進

私は、市長に就任して以来、一貫して、市民本位の市政の推進を基本に、ふるさと向日市を、21世紀に向けて人間性豊かな福祉と文化・教育の香り高い定住都市とするため、その実現に向けて全力を傾注してまいりました。このところであり、とりわけ、平成元年度は、公約いたしました施策の実現に向け、積極的に取り組み、市民の信託に応えるとともに、とくに、京都国体に結集されたエネルギーを受け継ぎ、スポーツの層の振興と活力と調いのあるふるさとづくりにまい進した次第であります。63年度より好転したものの、行については、



シルバー人材センター発足

生活環境の整備
道路・水路 寺戸区事務所から阪急東向日駅への道路を市民に親しまれるコミュニティ道路として整備を開始。西向日噴水通り周辺で昭和62年度から3か年計画で進めてきた「桜の径保全整備事業」が完了。



第5向日陽小グラウンドに夜間照明設置

国民健康保険事業

決算額は、歳入十七億六千九百三十九万六千六百九十九円、歳出二十億四千五百四十七万七千九百九十九円、歳入不足一億七千五百八十一万九千九百九十九円となりました。単年度では、四百七十七万九千九百九十九円不足となっています。

老人保健医療

決算額は、歳入二十一億九千八百四十六万六千九百九十九円、歳出二十一億九千八百四十六万六千九百九十九円となりました。

大字寺戸財産区

決算額は、歳入五百九十九万九千九百九十九円、歳出四百九十九万九千九百九十九円となりました。

特別会計 (6会計)

物集女財産区

決算額は、歳入一千八百七十七万七千九百九十九円、歳出一千三百九十九万六千九百九十九円となりました。

水道事業

決算額は、収益的収支の事業収益で十億九千七百四十三万五千九百九十九円、事業費用が十億五千五百一十二万六千九百九十九円となりました。

資本的収支の収入は、三億一千四百三十三万九千九百九十九円、支出は、四億五千五百二十万九千九百九十九円となりました。

10月1日～7日
「法の日」週間
～法ももる 心が築くよい社会～
法の尊重・基本的人権の擁護等、法について考えてみましょう。